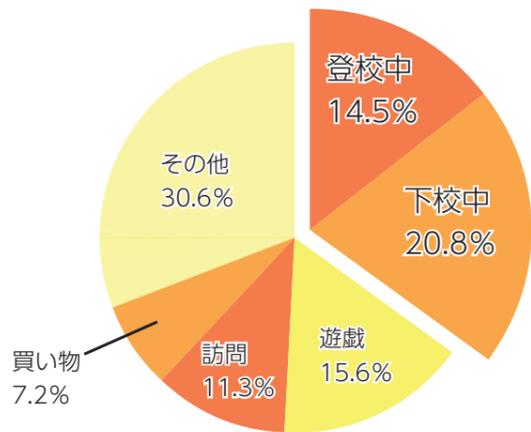
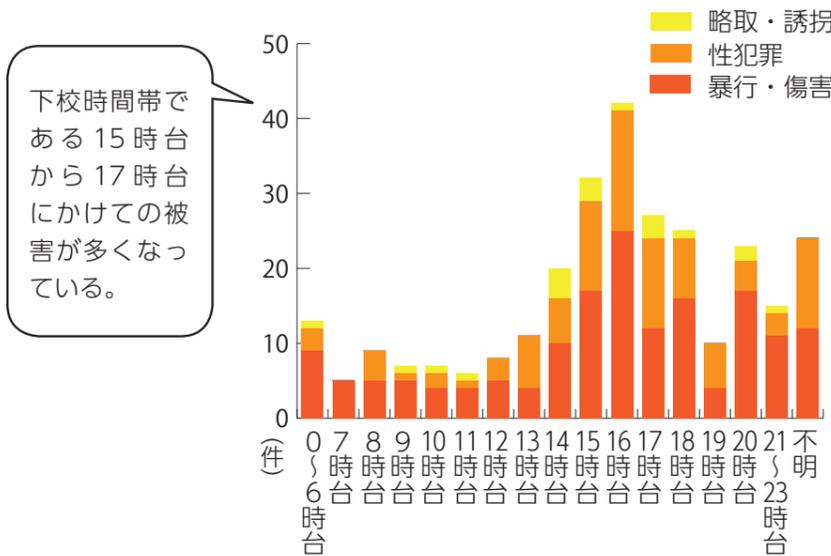


■小学生の交通事故 通行目的別死傷者数 ※1
(平成 25 ~ 29 年 歩行中において)



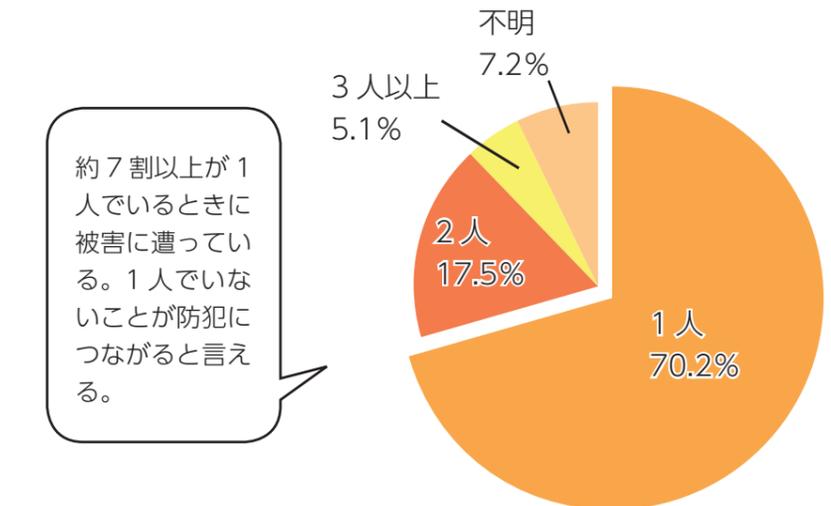
小学生の交通事故死傷者数は、登下校中が35.3%で最多。特に下校中が多いことがわかる。

■小学生以下の声かけ等事案 時間帯別被害状況 ※2



下校時間帯である15時台から17時台にかけての被害が多くなっている。

■小学生以下の声かけ等事案 被害時の人数 ※2



約7割以上が1人でいるときに被害に遭っている。1人でいないことが防犯につながると言える。



広げよう 見守りの「輪」

子どもたちが犯罪や交通事故の犠牲となる痛ましいニュースが後を絶ちません。登下校中の小学生は、幼さゆえに犯罪の標的にされたり、危機管理の意識が未熟であったりする場合が多く、事件や事故に巻き込まれる可能性が高いと考えられます。

市では、地域の子もたちを交通事故や犯罪被害から守るための取り組みを、地域ぐるみで行っています。主に、小学生の登下校の時間には、地域のさまざまな団体による見守り活動や、専門の指導員による通学路の巡回を行っています。

地域の目が、未来を担う子どもたちのリスクを減らすことにつながります。市では、「地域の子どもは地域で守る」をモットーに、今年度から新たに見守りボランティアを募集します。皆さん一人ひとりが、自分にできる見守り活動を行ってみませんか。

※1 児童・生徒の交通事故/平成 30 年 3 月 22 日警察庁交通局
※2 平成 30 年中における子どもに対する暴行等の主な犯罪及び声かけ等事案の認知状況/大阪府警本部

市は、地域住民による見守りや青色防犯パトロールなどの活動によって、小学生が地域で安全に安心して登下校できるまちづくりを行っています。地域の見守りや巡回は、交通事故を防ぐだけでなく、犯罪の抑止力にもつながります。子どもたちの安全を守るため、日々行っている活動や取り組みについて紹介します。

見守りボランティア募集

～普段のお散歩コースを通学路に変えてみませんか～

子どもたちが安全で安心して暮らすためには、学校や警察、保護者はもちろん、地域の皆さんのあたたかい見守りの目が大きな役割を果たしています。みなさんも見守りボランティアに登録しませんか。

ボランティアの活動って？

ウォーキング、買い物、犬の散歩、通勤・通学、企業によるCSR活動など、日常生活の中で、防犯の視点を持って子どもを見守ります。

登録者には専用のベストが交付されます。ベストを着用し、見守り活動を行ってください。

登録できるのは？

以下のいずれかに該当する、子どもの見守り活動に取り組んでくれる18歳以上の人または法人その他団体です。

- ・市内在住または在勤、在学している人
- ・市内に事務所または事業所のある個人、法人、その他団体

登録はどうやって？

市役所6階・子育て支援課窓口にて登録手続きをお願いします。※印鑑不要

問合せ 同課へ

interview

見守り活動に参加している人にお話を伺いました。



泉 眞弥子さん

顔を覚えてくれています

平日の空いている時間に、交通量の多い交差点に立って小学生の登校の見守り活動を行っています。見守りを始めたのは、民生児童委員になったことがきっかけで、今年で3年目になります。今では子どもたちも顔を覚えてくれ、地域の別の場所で会っても「おばちゃん！」と親しく声をかけてくれるようになりました。

こそ、まちで見かけた知らない子どもが危ないことをしていたら「危ないよ」と声をかけることができるようになりました。近くにいた人に「私も危ないと思っていたんだけど、声をかけようか迷っていた。言ってくれて良かった」と言われた時は、声掛けをしたことが間違っていなかったんだと嬉しく思えました。

広がる地域の輪

見守り活動をすることで、私自身、地域の輪が広がっていくのを感じます。登校する子どもたち以外にも、毎朝お会いする地域の大人たちとも顔見知りになりました。信号待ちの時に世間話をしたり、一緒にあいさつをしたり、そういう小さなコミュニティができていくのもこの活動の良いところだと思います。

「危ないよ！」が言える

「子どもたちが無事に、元気に、学校に行くことを少しでもサポートできている」ことが見守り活動のやりがいです。「ボランティアをしている」というよりは、「自分の健康のため」と思っている部分もあります。

また、普段、見守り活動で子どもたちに声をかけているから

青色防犯パトロール

主に下校の時間帯に、通学路を中心に市内を広域巡回しています。



スクールガードリーダー

登下校の時間帯に各小学校校区を巡回し、危険個所の把握や改善、児童生徒などへの安全指導を行っています。

ボランティアによる見守り

PTAや自治会、セーフティパトロール隊、民生児童委員、子ども会、青少年指導員などによる見守りボランティア。帽子、ベストなどを着用し、小学生の登下校の安全見守り活動を行っています。

こども110番

地域の家庭や事業所が、子どもたちがトラブルに巻き込まれそうになったときに駆け込めるよう「こども110番の家」のプレートを掲げるなどして協力してくれています。また、「こども110番の家」「こども110番の車」「こども110番の自転車」なども子どもたちの安全の確保に配慮し、見守り活動を行っています。



交通専従員

信号のない交差点など、危険個所に立ち、子どもたちが安全に登下校できるよう見守り、交通指導を行っています。

学校受付員

市立幼稚園・小学校の校門で、不審者の侵入がないよう見守りを行っています。また、登下校時の飛び出し事故が起らないように、子どもの様子にも注意しています。

防犯マップ

学校職員、警察、自治会、PTA、民生児童委員などが通学路の合同点検を歩いて行い、連れ去りや不審者出没の危険性が高いと判断できる見通しの悪い道や死角となる場所など危険個所の把握を進めています。また、点検結果を踏まえ、危険個所の写真をつけて地図に落とし込んだ「防犯マップ」の作成を、市内全小学校で予定しています。